

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371100849
事業所名	グループホームなごみの里

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	町内会ではゴミ拾い、バーベキューなどの行事に参加している。隣接するデイサービスには老人会によるハーモニカ演奏会、ボランティアによるフラダンス、日本舞踊、手品などの慰問がありその都度参加している。町内の秋祭りには事業所前まで山車が来る。園児による慰問もあり、ひとつひとつの行事が利用者の楽しみとなっている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	いきいき支援センター、民生委員、利用者家族の参加があり、事業所のできごとや行事予定が報告されている。会議の中で食事の塩分量について見直してはどうかと意見が出された。利用者の健康を考え、食材や味付けを工夫して塩分控えめの食事作りに取り組んでいる。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	区役所、いきいき支援センターから問い合わせがあったり、事業所から相談をすることもある。生活保護課の職員が定期的に訪問している。市町村主催の研修には積極的に参加しており、職員間で情報の共有をしている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	利用者の近況とともに毎月なごみの里便りだよりを家族に送付している。家族の面会時に家族や利用者の要望を聞くこともあるが、直接聞けない場合でも目安箱が設けられており、間接的に意見を汲み取ることができる。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	○	○	○	○	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。